

觀察の地方色

(二)

觀察の實際

奈良女高師
附屬幼稚園

會澤タガエ

觀察の實際に付てお答へ申し上げますので御座います、新たにかかる案をつくつたと云ふのではなく、當園で只今までやつて參りました實際の一部を記しましたので、尙々大に研究を續けて行かなければならん事と存じて居ります。

便宜上自然界に屬するものと、人事界に屬するものとの二つに分けて認めます。

(冬期間と云ふので御座いますから、ここに十一月末から翌年の二月迄の事を認めます。)

一、自然界に關するもの

1、動物に關するもの

魚類、金魚、鯉等の成長(當園の池にて飼育)
蟲類、秋の蟲の行方、蟻の巢籠(當園遊園に於て)

鳥類、羽毛の變色と冬期の狀態(當園鳥舍内)
獸類、白鼠、猿、兎(自力の防寒の準備等)

(當園飼育)

2、植物に關するもの

花卉類、水仙、寒牡丹、シネラリア、マーガレット、福壽草、竹、西洋櫻草、ゼラニウム
南天、梅、猩々木、山茶花、クリスマス樹等
多くは當園にて幼兒と共に栽培、溫室物は時々本校に引率親しく室内にて觀察せしめ、時ならぬ胡瓜、茄子、莓に幼兒を驚かしむ。

當園にても冬期中植物保護の目的をもつて
フレーム三個をつくり種々の花卉を幼児と
共に栽培する計畫にて現今着手せり。

果實類、柑橘類は本校果樹園に引率。

ドングリ等は園外保育の際山又は林にて拾
ふ。園内にも或種のものあり。

穀菜類、稻刈、秋の收穫に續きて其の後の田
畑の状況(豆、春蒔等)

同時に取殘されし案山子、鳴子等。

野菜、蕪、大根、葱、菜(色々)春菊、牛蒡、

ほうれん草等、一部當園栽培。

當園内の餘地を悉く花壇、菜園とし花卉に加
ふるに穀菜類を可成多く幼児と共に栽培し收
穫物は幼児に試食せしむる目的にて現今着手
せり。

尙保姆は、山又は平地の四季時折の花卉を生
花とし幼児の觀察用に供し居れり。

3、鑛物に關するもの

砂(河の白砂)石(外遊に使用)粘土(内外にて
使用)

二、人事界に屬するもの

春日若宮祭(十二月十七日)行列拜觀。

年の市實際觀察、光景、店飾り等。

クリスマス、實際。

お正月、餅、床飾り、門松、しめ飾等。

遊びとして、獨樂、羽子板、羽根、凧、毬等

消防出初式(一月六日)實地觀察。

節分、當地特別の行事あり、實地觀察。

紀元節、當地傍畝御陵に近き爲特に實地參拜又

これについて神武の東征を偲ばしめ昔時の武
器、弓と矢の實物觀察等。

三、自然現象

霰、雪、氷(ツララ)霜等。

大要右の様で御座いますが、お正月の遊び、節

分、紀元節等については随分種々の方法で遊びますから其の遊びについての色々の觀察も充分にいたします。

尙三學期の終りから三學期の初、中頃にかけてまして氣候の都合上、花壇、菜園もお眠りの時期で御座いますし、園外に引率いたします事も多く出来ません。其れで當園では其の時期を利用いたしまして最も子供の喜びます玩具に多く親しましめ、尙木片（木のきり残り、かまぼこ板、三寶穴のくりぬき）等を持ちまして幼兒自身に玩具を製作せしめ、其れを弄ばせると云ふ様な事をいたして居ります。幼兒には少し無理ではないかとのお考へも御座いませうが、幼兒の自由に任せ置きまして製作せしめますと、かなり面白いものが出来ます。いくら貧弱なものが出来上りましても自分が製作したと云ふ喜びは、むやみに店からただ買つて來た高價な玩具を與へられる時の所ではありませ

ん。實に喜び弄ぶので御座います。出来るならば容易に出来ます設備がほしいと存じて居りますが家もなし又幼稚園の事とて充分と云ふわけには参りませんが、ぼつぼつ都台のよくなる様になつて参つて居ります。

地方中心觀察指導豫定案

今治幼稚園 田坂 雪

豫洲の地と云へば日本全國の方に何の強い／＼思ひ出も與へない。四國の一隅に過ぎないもので有る事を知りませう。それさへ思ひ出してもらへない位に大日本帝國の上からは僅な都會、慥かに文化の都會の其よりは遅れて居、特に我今治市漸やくに近年四國一の開港場となり鐵道開通と共に海陸共に交通繁く四國のマンチエスターを以て人も我も任じて來た。